

電波ソーラー時計 商品取り扱い説明書

- ※ 腕時計をご使用になる前に必ずお読みください。
- ※ 本取り扱い説明書は大切に保管してください。

1. 基本機能	
1-1. 製品基本仕様	2
1-2. ソーラー充電機能について	3~5
1-3. 電波時計について	6~8
2. 操作方法説明	
2-1. 各パーツ、液晶ディスプレイ表示説明	9
2-2. 電波強制受信	10
2-3. パワーセービングモードへの切り替え	11
2-4. タイムゾーンセッティング	12
2-5. リセット操作	13~14
2-6. 曜日の液晶表示言語切り替え	15
2-7. 手動時刻合わせ	16
3. ご注意事項	
3-1. 防水性について	17
3-2. 充電時のご注意	18
3-3. 電波受信時のご注意	18
4. トラブルシューティング	
	19

1. 基本機能

1-1. 製品基本仕様

水晶発振周波数	32,768Hz
精 度	電波受信による時刻修正が行えない場合は 平均月差±1.5秒以内
基本機能	アナログ部=時、分、秒 デジタル部=秒、月、日、曜日、バッテリー残量表示 電波受信結果表示
電波時計機能	自動受信(午前2・3・4・5時)合計4回 ※受信に成功した時点で終了 手動受信機能 受信電波自動選択機能 受信電波=コールサイン:JYJ 周波数:40kHz / 60kHz
ワールドタイム機能	世界31都市対応
言語表示	英語 ※曜日はドイツ語選択可
防 水	5気圧
使用電池	二次電池
持 続 時 間	3ヶ月 ※パワーセービングモード時6ヶ月
そ の 他	■手動タイムセッティング機能 ■電池残量表示機能 ■充電警告機能(2秒運転) ■電波受信結果表示機能 ■パワーセービング機能

1-2. ソーラー充電機能について

本機はソーラーセルで発電し、二次電池に充電しながら使うようになっております。通常使用の場合フル充電で約3ヶ月、バッテリーセービングモード(11ページ参照)の場合約6ヶ月稼動いたしますが、光が当たりにくい場所での保管及び使用、長袖で本機が隠れたままの使用が長時間続きますと、二次電池が消耗して表示しなくなる事があります。安定してご使用頂くために、なるべく光が当たるようにしてお使い下さい。

●電池残量の確認

二次電池の残量は液晶ディスプレイにて確認できます。確認方法は、液晶ディスプレイが秒表示モードの時にS2ボタンを1回押します。



レベル1		通常動作可能
レベル2		通常動作可能
レベル3		通常動作可能
レベル4		電波受信不可 ボタン操作不可

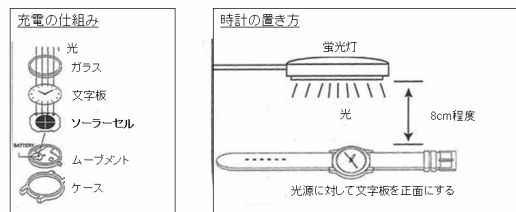
※レベル4では液晶画面にバッテリーアイコンが点滅し、秒針が2秒運転となります。さらにそのまま充電が行われず、全ての針が12時位置に停止した状態となります。(内部ではまだ動いていますが、すぐに充電を行ってください)

※レベル4から充電を行った場合、電池残量がレベル3以上に回復した時点で電波を受信して時刻を自動修正します。

※時計が完全停止してしまった場合は直射日光で3~4日間充電してください。それでも再稼働しない場合はお買い上げのお店にご相談下さい。

●充電のしかた

本機のソーラーセル部(文字板正面)を光源に向けます。ソーラーセルの一部が隠れていると充電効率が下がりますのでご注意ください。また、週に1度は直接日光に当てるか、蛍光灯の下での充電をお薦めします。



●充電時のご注意

以下のような高温下での充電はお避けください。

- ※ 炎天下に駐車中の車のダッシュボードの上
- ※ 自然ランプなどの発熱体に極度に近いところ(蛍光灯の場合は8cm程度でも問題ありません)
- ※ 直射日光が直接当たって高温になるところ

⚠ 充電の際、光源の条件によっては時計本体が極端に高温になることがありますので、やけどなどをしないよう充分にご注意ください。

